

台北駅至近のホテル事業「(仮称)中山忠孝ホテル」に参画決定

台湾 2 物件目の直営ホテル 2022 年開業予定

本事業のポイント

- ・台北駅と地下 1 階で直結予定の交通利便性と視認性に優れた立地
- ・台湾 2 物件目の直営ホテル(客室約 350 室)として 2022 年開業予定
- ・台北都市圏を中心に台湾でホテル事業展開を推進

■三井不動産株式会社(所在:東京都中央区、代表取締役社長 菰田正信)は、台湾で 2 物件目となるホテル事業「(仮称)中山忠孝ホテル」に参画することを決定し、^{きんいくたい}金毓泰股份有限公司※(本社:台北市、代表 ^{りょう ねんいく}廖 年毓)とホテルの開発および運営に関し合意しました。台湾初のホテル事業「(仮称)忠孝新生ホテル」に続く直営ホテルとして 2022 年に開業を予定しています。今後も台北都市圏を中心に台湾でのホテル事業の展開を進めてまいります。

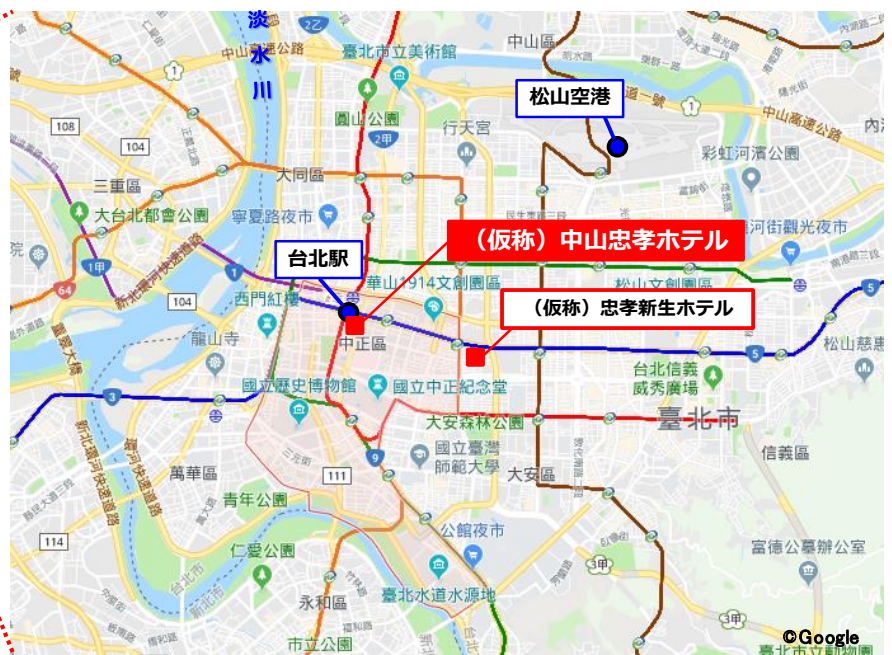
※台湾の建設会社である^{こうよ}豪昱營造股份有限公司が設立したプロジェクト会社

■当ホテルの計画地は、新幹線、在来線、MRT(桃園空港線、淡水線、板南線)の計 5 路線が利用できる台北駅まで徒歩 3 分、ホテル開業時には地下 1 階で駅直結予定と、非常に高い交通利便性を有しています。また、主要幹線道路の中山路と忠孝路の交差点に位置し、視認性も高く、西側は台北駅前の商業地、南側は官庁街となっており、歴史的建造物も多数所在します。松山空港からも車で約 15 分の距離で、日本からの観光・レジャー目的のお客様のみならず、ビジネス目的のお客様、また香港や東南アジアからのお客様、台湾国内のお客様など幅広い方々の利用を想定しています。

■当ホテルは^{きんいくたい}金毓泰股份有限公司が開発する建物を当社グループが賃借し、客室約 350 室、アッパーグレードの宿泊主体型ホテルとして運営します。建物開発段階から当社が企画協力し、また運営面でも日本国内 20 の三井ガーデンホテル事業で培ったノウハウを最大限に生かし、台湾においても「お客様の五感を満たすホテル」、「記憶に残るホテル」を目指し、ホスピタリティ溢れるサービスの提供に努めてまいります。



台湾北部



台北中心部

■三井不動産の台湾での事業について

2016 年 1 月に三井不動産グループ初の台湾事業である「三井アウトレットパーク 台湾林口」をオープンしました。2018 年には 2 施設目の「(仮称)三井アウトレットパーク 台湾台中港」、2020 年には台湾初のホテル事業「(仮称)忠孝新生ホテル」、2021 年には台湾初のららぽーと事業である「(仮称)三井ショッピングパーク ららぽーと台湾南港」のオープンに向け事業推進中です。今後の更なる事業拡大のため、2016 年に設立した現地法人(台湾三井不動産股份有限公司)を投資拠点として、台湾各地で商業施設、ホテルのほか、住宅事業、物流施設、複合開発事業などの展開を目指しています。

■三井不動産グループのホテル事業について

当社グループは、現在、アッパーミドルクラスの「三井ガーデンホテルズ」とハイクラスの「ザ セレスティンホテルズ」を全国で計 23 施設 5,841 室運営しております。今年 6 月には、「三井ガーデンホテル大手町」と「三井ガーデンホテル五反田」が開業予定で、さらに今秋には「(仮称)三井ガーデンホテル日本橋プレミア」も開業を控えており、今後も、大都市圏、地方中核都市において、積極的に新規展開を図ってまいります。

また、リゾート事業としては、沖縄県・小浜島の「はいむるぶし」、三重県志摩市の「NEMU RESORT(ネム リゾート)」、三重県鳥羽市の「鳥羽国際ホテル」などを運営しており、2019 年夏には「ハレクラニ沖縄」の開業を予定しています。さらに海外事業としては、米国ハワイ州でホテル「ハレクラニ」、シンガポールで「セントレジスホテル」などを展開しています。

■三井不動産の海外戦略について

当社グループは海外事業を成長分野の一つに位置付け、米国・英国に加え、中国・台湾・東南アジアなどのアジア諸国で事業を展開しています。2011 年に中国での「杉井アウトレット広場・寧波」の開業に続き、クアラルンプール、台湾でのアウトレット事業、上海とクアラルンプールでのららぽーと事業など、アジアで 7 つの商業施設事業を推進しています。また、マレーシア、シンガポール、タイ、インドネシア、フィリピン、中国では住宅事業も展開しており、拡大する消費を積極的に取り込み、現地に貢献しながら早期に利益を拡大すべく、アジアでの事業を積極的に推進しています。

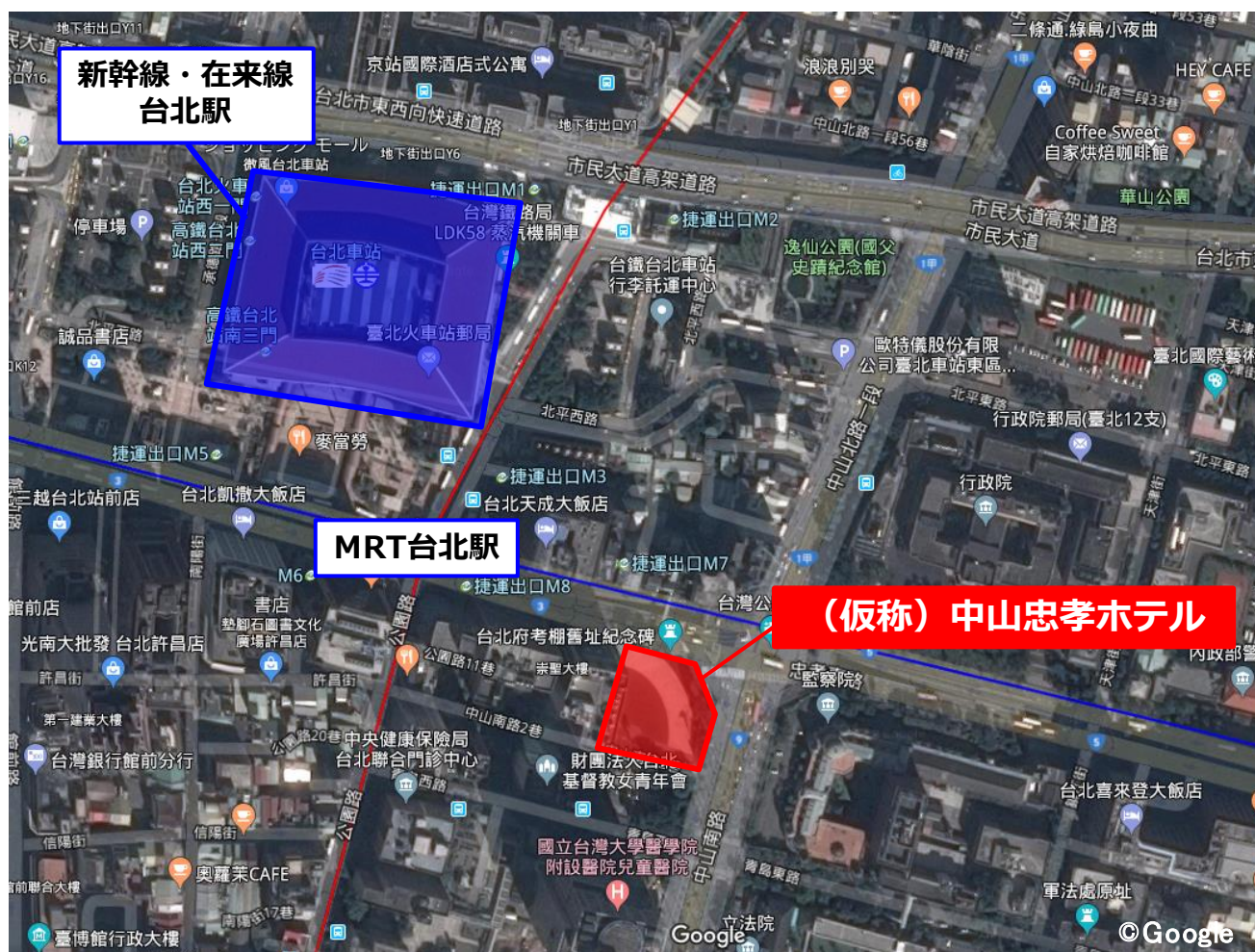
■豪豆造営股份有限公司について

会社名	豪豆造営股份有限公司
董事長	廖 年毓
本社所在地	台北市中山区中山北路一段
資本金	5.1 億 NTD
主な事業	オフィス・公共施設等の建設工事

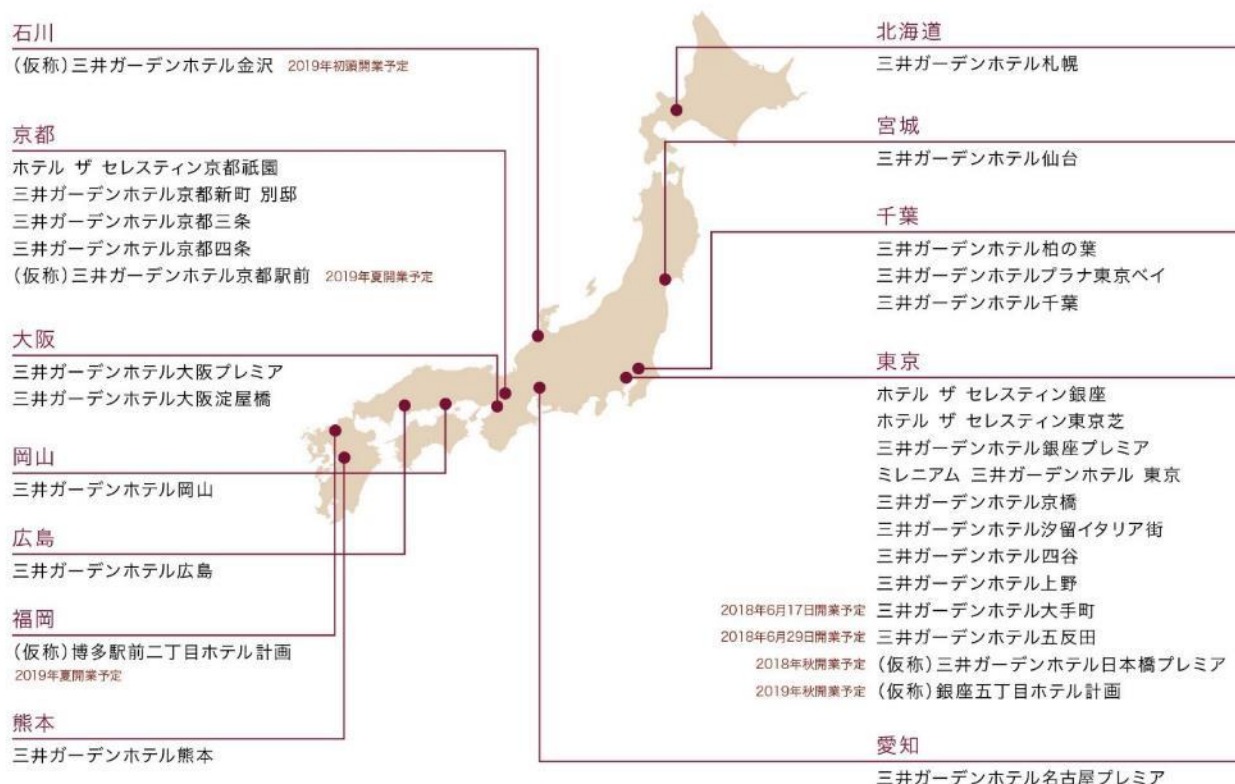
【物件概要】(予定)

所在地	台湾 台北市中正区公園段三小段 1 地号
交通アクセス	MRT「台北」駅徒歩 3 分
敷地面積	約 3,800 m ²
地上階延床面積	約 29,000 m ²
建物規模	地上 18 階、地下 5 階(ホテル部分は、1階の一部および 6～18 階)
客室数	約 350 室
事業形態	金毓泰股份有限公司が開発する建物の一部を三井不動産グループが賃借、ホテルとして運営
開業予定	2022 年(予定)

<添付資料1>位置図



<添付資料2>三井不動産グループの国内ホテルマップ



<参考>台湾におけるホテル 1 号案件(予定)

■(仮称)忠孝新生ホテル

所在地	台湾 台北市大安区忠孝東路 3 段 10 巷
交通アクセス	MRT「忠孝新生」駅徒歩1分(板南線、中和線) ※「台北」駅から 2 駅、「市政府」駅から 4 駅 台北松山空港から車で 15 分
敷地面積	約 1,470 m ²
地上階延床面積	約 14,000 m ²
建物規模	地上 17 階、地下 5 階 (うちホテル部分1階～17 階、レストラン 1 階、駐車場地下 1～5 階)
客室数	約 300 室(平均 27 m ² /室)
事業形態	宏普建設が開発する建物を三井不動産グループが賃借、ホテルとして運営。
開業予定	2020 年(予定)

